

みんな

よくなれ

令和四年五月二十七日発行

29 回生通信
第 4 号

「天竺」を目指して

高校に入学して、最初の定期考査が終わりました。自分の力を出し切れたでしょうか。六月一日には素点確認が行われて、学年での順位も出てきます。当然のことですが、1 番から 153 番までの順位がわかります。一般に、上位の成績の人は優越感を抱いて、下位の成績の人は劣等感を抱きます。誰でも、周囲との比較で優越感を持ったり、劣等感を持ったりするのは仕方ないのかもしれませんが、成績が良かった人は、努力の結果としてよい成績を取れたのですから、優越感は努力の報酬として、幾分の意味があるかもしれません。しかし、劣等感には、何の意味もないように思います。劣等感ではなく、努力ができたかどうか。どうすれば、次は改善できるか。そういった視線で自分の成績と向き合ってみてはどうでしょうか。

昔の話をします。中国に三蔵法師というお坊さんがいました。孫悟空や沙悟浄、猪八戒を従えて天竺（インド）に行きました。天竺は、仏教発祥の地です。ありがたいお経を手に入れるために天竺に行ったのでした。その苦難の旅は、日本でも昔から親しまれています。

同じ時代の中国人に、鑑真というお坊さんがいます。そのお坊さんは、日本にお経を伝えるために何度もチャレンジしました。幾度かの失敗の後に、やっと日本に辿りつきました。その時には失明をされていました。

三蔵法師はお経を手に入れるために西の天竺へ、鑑真はお経を伝えるために東の日本へ行きました。幾年もかけて、命の危険も顧みずに旅をしました。二人の旅は、今なら飛行機に乗れば数時間で済みます。今の時代の人は、二人のような苦勞をすることはありません。さらに、お経のありがたさも、当時ほどには思われていません。だから、二人のように、時間をかけることも、苦勞をすることも無駄だと言えるでしょうか。当然ですが、言えないはずですよ。

二人は、所期の目的を達成しました。苦勞の大きさは、達成の喜びをより大きなものにしたはずですが、もし二人が目的を達成しなかったとしても、その行動と勇氣は称賛されるべきです。そう考えると、三蔵法師や鑑真が偉大なのは、その挫けないチャレンジ精神かもしれません。私たちは、彼らのような傑出した人間ではありませんが、彼らの勇氣と挫けない心は見習うことができます。三蔵法師が天竺を目指したように、鑑真が日本を目指したように、私たちに与った「天竺」を目指して努力を続けられたら、きっと高校生活は充実します。



部活動の入部状況

29 回生の部活動の入部状況はどうなっているのでしょうか。気になったので調べてみました。すると、運動部には、マネージャーを含めると 104 名が入部をしていました。文化部にも 41 名が入部をしています。運動部と文化部を合わせると、145 名の方が部活動に所属していることとなります。その中には、複数の部に所属している人もいます。ですが、29 回生は 153 名ですから、大多数の人が部活動に参加しています。付属での勉強に慣れるまで、寮生活に慣れるまで、そういった理由で、入部を迷っていた人もいます。そういった人は、第一回定期考査が終わり、入部から、これを機に入部をするのもいいかもしれません。

勉強一点張りの高校生活を送ろうと思っている人もいます。その場合は、部活に入らなくてもいいと思います。入部する場合も、しない場合も、どちらも大丈夫です。勉強に部活に一生懸命に打ち込む高校生活にしましょう。



部 活	男	女	マネ
運動部	106	410	000
陸上	66	05	120
水泳	06	00	000
バスケ	07	00	000
バレー	07	05	000
卓球	02	03	002
バドミントン	70	11	221
テニス	08	14	218
サッカー	34	04	
剣道	43	44	
野球	53	44	
文化部	12	20	
音楽	22	03	
自然	04	30	
放送	04	02	
映像	00	08	
文化	00	03	
コンピュータ	10	21	
美術	20	21	
ES			
芸術			
文芸			
小計			
合計	73	65	8

BYODのパンフレット

兵庫県の高校では、今年度入学の一年生から、全員が BYOD のモバイルパソコンを持つことになりました。先日、全員のパソコンが学校に届きました。

パソコンの初期設定は、六月二日（木）と六日（月）の六時間目終了後を予定しています。各教室で、担任の先生と情報担当の先生がサポートをさせていただきます。その時に、先生の指示に従って初期設定をします。その前に、各自にパソコンが配布されますので、自宅に持ち帰って充電をおきましょう。

※BYOD: Bring Your Own Device の略



文化祭特集

五月十二日（木）、十三日（金）の両日、文化祭が行われました。文化部にとっては、大切な発表の機会です。文化部に入部した人は、事前の準備や当日の発表、大変だったと思います。お疲れさまでした。一方、一年生全体のテーマは「緑日」でした。そのテーマに沿って、どのクラスも工夫を凝らしていました。どの教室もお客さんで溢れるほどで、順番待ちの列ができていました。緑日のお店を開いた 29 回生だけでなく、参加している人もみんなが楽しんでいました。29 回生の活躍は他にもあります。文化祭の初日の「インターびーぷる day」では、ゲストスピーカーとして後藤さんが登場しました。また、有志ピアノ演奏に明石さん、福田さんが出場しています。それでは、附属高校での初めての文化祭を紙上で振り返りましょう。

各クラスの出し物

- 一組 夏祭り（ヨーヨーなど）
- 二組 緑日（ボーリングなど）
- 三組 怪盗 X からの挑戦状（謎解き）
- 四組 ドキドキ遊ベマス（巨大人生ゲーム）
- 五組 カジノ（トランプゲームなど）

「インターびーぷる day」のゲストスピーカー

スピーチを終えて 五組 後藤 美温 さん
今回のスピーチは、過去に憧れの先輩が ESF で優勝して立ったステージで、私も同じ所に立てるのが嬉しかったです。当日、PC の調子が悪く、PC を使わない私が一番になりました。緊張しましたが、先輩の応援と楽しむという思いで乗り切ることができました。最初で良かったかは分かりませんが、スピーチの中に実体験や私の思いを込めたので、聴いてくださった人がフードロスについて少しでも考えるきっかけになれば嬉しいです。

※ESF: English Speech Festival

有志のピアノ演奏

幕が上がる瞬間

四組 明石 真美 さん
五組 福田 優奈 さん



〽 繋 〽

1組 小林 真紀子 さん
駒田 七咲 さん

二日間の文化祭が終わりしました。今年度も新型コロナウイルスの影響で人数制限など、感染症対策が徹底された中での開催となりましたが、リモートの画面の中から溢れる先輩方の熱情的な眼に心打たれました。文化祭の準備では、クラス仲間とともに、ガランを作り上げ、校舎につなげられた様子を見るのが嬉しかったです。「縁日」では、なかなか案が出ず、とても焦りを感じたけれど、無事に準備することができ、とても良かったです。初めての文化祭で不安なことだけでなく、この内容で来てくれる人たちが楽しんでくださるのか、はらはらしましたが、笑顔を見ることができたので良かったです。



みんなでやれば

2組 緒方 千紗 さん
正野 心愛 さん

私は最初、文化祭の準備にクラスのみんなが参加してくれるか不安でした。みんな面倒くさがるのではないかと思っていました。しかし、準備の期間が始まると、クラス全員がとても協力的に準備に携わってくれました。「全員でやりとげよう」という意識を持ち、準備を進めました。買い出しに行くときも「一緒に行くよ」と多くの人が声をかけてくれました。放課後も「私は何をしたらいい？」と言ってくれたり、「こうした方が上手いと思う」などと、互いにアドバイスを合いました。みんなの協力のおかげで、展示をスムーズに進めることができました。一人では成し遂げることが難しいことも、みんなで協力すれば成し遂げることができると改めて感じた文化祭でした。



はじめての文化祭

3組 猿川 侑理 くん
高松 航大 くん

残念ながら生憎の雨の中での文化祭でしたが、いざ始まってみれば、新幹線のようにあっという間に過ぎた二日間だったと思います。最初は、みんな人生初の文化祭でどのようなものか分からず、意欲があまり出ないということもありましたが、その中でも良い謎解きをするためにクラスみんなで協力しながら準備することができました。そして、思っていたよりもかなり多くの人に謎解きを楽しんでもらえて嬉しかったです。(ちなみに怪盗Xは多くの人が苦戦している様子を見てとても喜んでいました)。協力してくださった先生・クラスメイト、謎解きに来てくださった方には感謝しかありません。ありがとうございました!!



四組サイコー!

4組 明石 真美 さん
伊藤 尚 さん

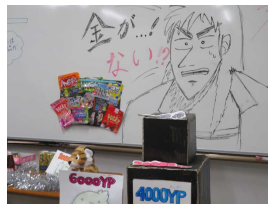
高校入学からほんの一月。まだ高校生活に慣れていない人もいる中で、文化祭「a megu」が行われました。もちろん、文化祭は楽しかったですが、景品の買い出しや遊戯店の準備、その他活動での発表の準備や有志発表の練習等、みんな忙しい日々を送っていました。それでもクラスで協力して、すばらしい人生ゲームになったと思います。四組の人は、遊戯店の名前や人生ゲームの後のミニゲームの内容など話し合いが必要時にLINEで呼びかけた。次の日の放課後に集まってもらえるように、優しい人ばかりです。そんな四組だからこそ楽しくて面白い文化祭でした。四組のみんな、ありがとう!



ギャンブルの恐ろしさ

5組 福田 祐真 くん
米本 春樹 くん

文化祭お疲れさまでした。最高の店を短期間で作り上げてくれた皆さん、カジノの営業という学校行事にはグレートな提案にご理解、ご協力をいただいた先生方、そしてギャンブルの魔性に溺れた哀れなギャンブラーの皆さん、本当にありがとうございました。私たちがこのカジノで一番印象的だったのは、カジノ内のあふれんばかりの熱気です。当たって喜ぶときも、外れて悔しがるときも、全身全霊で感情を露わにするお客さんを見て、ギャンブルとはここまで人間から冷静さを奪うものなのかと恐怖を覚えるとともに、自分たちはここまで人を楽しませることができたのだと嬉しくなりました。最後に文化祭に関わった人たちにすべての方に、最大の感謝を!



寮の食事が変わる!

五月二十六日(木)から、寮での朝食が変わりました。コロナ以前の朝食は、バイキング形式でした。しかし、コロナ感染症の流行で、一人ずつトレイを受け取る形式になっていました。その食事形態が野菜とパンだけではありませんが、バイキング形式に戻りました。ただし、感染症予防のために、野菜とパンを取るときに、使い捨ての手袋を使用します。この変更は、保護者の要望や昨年度の生徒アンケートを受けての変更です。食事は健康の基本ですから、しっかりと朝食を摂って登校しましょう。また、保護者の方が、お金を払ってくださっているわけですが、29回生のみなさんには、食堂の方に挨拶やお礼を言える人であってほしいと思います。



教育実習生の紹介

五月三十日(月)から教育実習が始まります。例年は、五名ほどの先輩が母校である附属に戻って実習をされます。ところが、今年は二名だけです。少しさみしい思いをします。少し気が早いですが、今から六年後には、29回生のみなさんが教育実習に戻ってきます。何人の人が実習をすることになるのか、今から楽しみにしています。さて、教育実習生は授業をしてくださる先生ですが、一方で先輩でもあります。授業の内容はもちろんですが、高校生活のこと、大学での研究など、いろいろ質問してみましょ。なお、中学校と高校の両方の教員免許を取るためには三週間の実習が必要とされます。今回のお二人は、ともに二週間だけの実習ですから、高校の教員の免許だけを取得されるおつもりです。六月十日(金)のLHRは、進路選択を考える学年集会を予定しています。その学年集会に実習生のお二人を招いて、お話をさせていただきます。大学受験の経験談、教職を目指す理由、29回生へのアドバイスなどが聞けるものと思います。



一年担当の若杉さんからのメッセージ

はじめまして! 兵庫県立大学から来ました、若杉一優(かずま)と申します。みんなと仲良くなつて、楽しい教育実習にしたいなと思っています。高校まではサッカーをしていて、大学からはアイスホッケーを始めました。人とおしゃべりすることが大好きなので気兼ねなく話しかけてくれたら飛んで喜びます。二週間という短い期間ですが、どうぞよろしくお願いたします。

5月以降の行事予定(1年生関連)	
5月	
27日(金)	情報モラル講演会 (1・2年生合同)
30日(月)	教育実習開始 ~6月10日(金)まで
6月	
10日(金)	進路選択を考える学年集会
17日(金)	生徒会役員認証式
29日(水)	創立記念日(生徒休業日)
7月	
1日(金)	第2回定期考査 初日
7日(木)	〃 最終日
	寮大掃除・寮生集会
8日(金)	生徒休業日
9日(土)	進研実力テスト
14日(木)	球技大会(AMのみ)
18日(月)	海の日
19日(火)	午前中授業開始
	ワックスがけ
20日(水)	GTEC(1・2時間目)
	全校集会
21日(木)	夏季休業開始・三者面談